投稿区分

タイトル（長い場合は文字幅変更で調整。2行目も認める）

苗字　名前

×××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××××。

（せい・めい、肩書き）

【キャプション（図表のタイトル・説明）】

図1　×××××××××××××××。希望の図サイズがあれば明記。例：ページ幅いっぱい。

図2　×××××××××××××××。希望の図サイズがあれば明記。例：ページ幅の8割。

図3　×××××××××××××××。希望の図サイズがあれば明記。例：ページ幅の半分。

表1　×××××××××××××××。

表2　×××××××××××××××。

【注意点まとめ】

* ヘッダー部分には手を加えない。また、余白や行数・文字数は変更しない。
* タイトルの前に、投稿区分を明記する。フォントはMSゴシック9.5pt。左揃えに設定してある。
* タイトルはMS明朝18pt。長い場合は2行にわたってもよい（編集時に調整する）。文字幅の変更で1行にまとめてもよい。タイトルは中央揃えに設定してある。
* タイトル下の著者名はMSゴシック9.5pt。苗字名前の間には全角スペースを入れる。著者名は右揃えに設定してある。
* 本文は著者名から1行空けて開始。段落のはじめには全角スペースを挿入する。本文は両端揃えに設定してある。
* 本文の日本語フォントはMS明朝9.5pt。英数字は半角で記入し、フォントは著者の指定がない限りTimes New Romanを推奨する。
* 句読点には「、」を、句点には「。」を使用する。
* 学名は斜体にする。
* カッコは通常全角だが、学名にかかる部分は半角にする。状況に応じて例外は認める。
* 難読字にはルビ打ちも可。ルビのフォントサイズの設定は変更しない。
* 複雑な数式等が出てくる場合は、wordの数式ツールの使用を推奨する。
* 参考文献・引用文献リストがある場合は本文の最後に掲載する。参考文献と引用文献を一括りにしてもよいし、参考文献のみまたは引用文献のみにしてもよい。文献は著者名のアルファベット順に並べる。文献リストのフォーマット指定は特にないが、著者・出版年（西暦）・タイトル・雑誌名（または書籍名）、巻号（雑誌の場合）、掲載ページ（雑誌の場合）、出版社（書籍の場合）が必ずわかるようにすること。
* リストのあとには著者名と肩書を平仮名表記する。カッコでくくる。右揃えにしてある。
* 図の横幅に希望があれば、キャプションの横に書き込むこと。
* 図表はこの原稿には挿入せず、別に提出する。それぞれの図表のファイル名には、図表の番号または図表のタイトルを明記すること。
* 大まかな図表の配置を指定したい場合は、この原稿とは別に配置のわかるファイルを作成し、提出すること（複製した原稿ファイルに図表を挿入したものでも可）。ただし、編集作業によって本文の分量が前後するため、必ずしも希望通りになるとは限らない。
* このテンプレートは予告なく変更することがある。
* ダミー原稿を次ページに示す。

一般投稿

友の会誌テンプレートについて（例）

友野　カイ

友の会誌編集の円滑な進行を目的として、会誌編集用の原稿フォーマットを作成した。ここにダミー原稿を記す。自然史友の会の会員は誰でも原稿を投稿することができる。基本的には原稿はどのような形式でも受け付けるが、可能であればこのテンプレートに沿って作成することを推奨する。

本文中で図表番号を示す場合はこのようにする（図1）。には、の初出の位置からあまり離れていないところに図を配置する予定である（図2）。図表番号を付けない場合は、内容を見ながら図表の位置を決める予定である。図表の位置におおまかな希望がある場合は、別紙にて位置を指定する。

本文中で文献の引用がある場合は、このようにする（友野 2020）。引用したは、最後にリスト化して記載する。

＜参考文献・引用文献＞

友野カイ（2020）友の会誌テンプレートについて（例）．わたしたちの自然史　200：5-7．

友野カイ・私野自史（1995）友の会誌の編集に関する書籍．自然史出版社．

（ともの・かい、会員）

【キャプション（図表のタイトル・説明）】

図1：で見つけたコクワガタ（希望の図サイズ：ページ幅いっぱい）

図2：いのちのたび博物館に展示してある梅花石（希望の図サイズ：ページ幅の半分）

図表番号なし：見つけたヤモリ。表面の質感がたまらない。（希望の図サイズ：ページ幅の8割）